W41K

by KYOCERA

USBドライバインストールマニュアル

CDMA 1X
WIN
au by KDDI

もくじ

本書は、「W41K」とパソコンを同梱の「USBケーブル」を使用して接続し、インターネット通信や同梱のCD-ROMの各種ツールをご利用になるための「USBドライバ」のインストール方法を説明しています。

■インストール／アンインストールする場合は、Administrator（管理者）権限のあるユーザーアカウント（利用者資格）で作業をしてください。詳しくはWindowsのヘルプを参照してください。

※ ユーザーアカウントは、次の手順でご確認いただけます。
- ・Windows XPの場合：　[スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]
- ・Windows 2000の場合：[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ユーザーとパスワード]

※ 本書の画面はWindows XPパソコンのもので、機種により異なる場合があります。Windows 2000についても、同様の操作でパソコンにUSBドライバをインストールすることができます。

●本製品の使用環境は以下のとおりです。

OS	Microsoft® Windows® 2000/XPの各日本語版がプリインストールされているパソコン（アップグレードされた場合は動作保証いたしません）
CPU	Intel® Pentium® Ⅱプロセッサ300MHz以上、または同等の性能を有する互換CPU
USBポート	USB1.1以上
ハードディスク	10MB以上の空き容量

●本書内で使用されている表示画面は説明用に作成されたものです。
●本書は、お客様がWindows®の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

● USBドライバをインストールする

1. 付属のCD-ROMからインストールする場合は、CD-ROMトップ画面から[データ通信ツール]→[USBドライバ]→[インストール開始]をクリックします。使用許諾契約に同意いただきますと手順2に進みます。
2. “ファイルのダウンロード”画面で［保存］をクリックし、“w41k_driver.exe”をデスクトップなど分かりやすい場所に保存します。

インストール完了するまでW41Kをパソコンに接続しないでください。

1. 保存した“w41k_driver.exe”をダブルクリックしてください。“USBドライバのインストール”画面が表示されます。



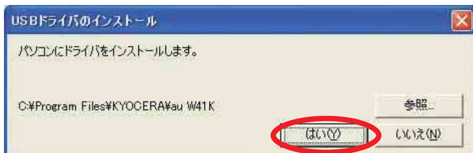
インストールフォルダ（C：¥Program Files¥Kyocera¥au W41K）を変更する場合は［参照…］をクリックしてください。

フォルダを指定して[OK]をクリックしてください。



2. “USBドライバのインストール”画面で[はい(Y)]をクリックします。

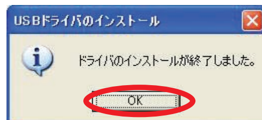
   ドライバのインストールが始まります。



3. 右の画面が表示されましたら、USBドライバのインストールが完了です。

   ［OK］をクリックしてください。

   ドライバのインストールが正常に行われていることをご確認ください（「接続状態を確認する」4ページ）。



● パソコンに接続する

1. 同梱のUSBケーブルをパソコンに接続します。
2. W41Kの電源を入れ、待受画面が表示されたあと、USBケーブルをW41Kに接続します。
3. W41Kに「通信モード選択」画面が表示されます。「マスストレージモード」または「データ転送/通信モード」を用途に合わせて選択します。

● 接続状態を確認する

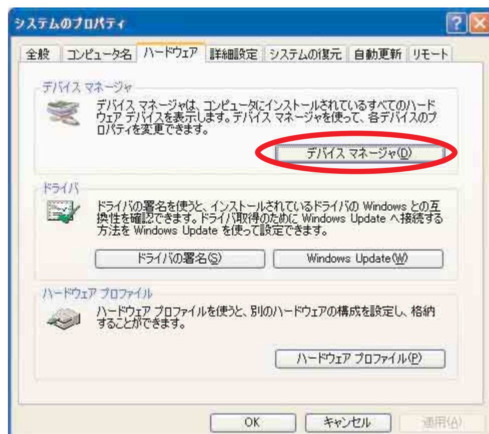
■データ通信/転送モードを選択した場合

1. コントロールパネルを開きます。

   ●Windows2000の場合
   [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の順にクリックします。

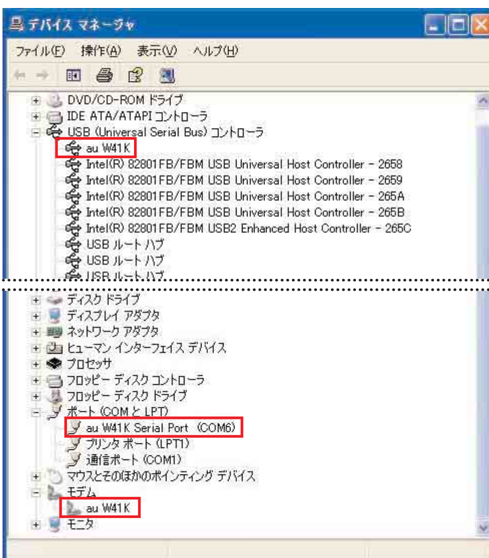
   ●WindowsXPの場合
   [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順にクリックします。

2. ハードウェアタブにあるデバイスマネージャをクリックします。



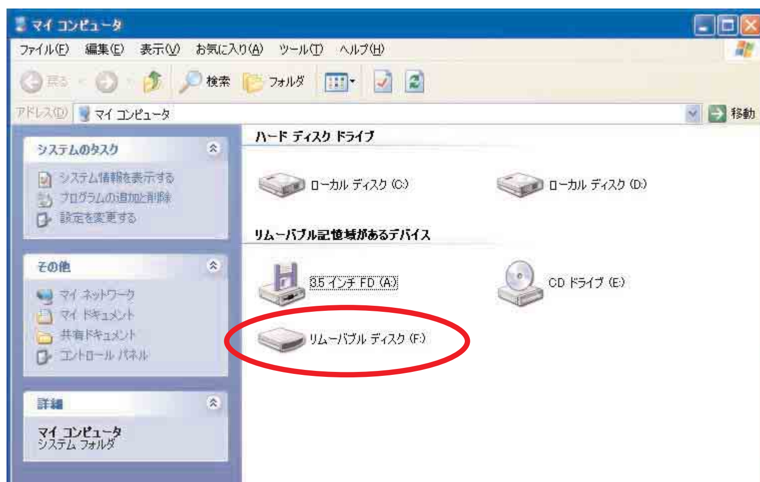
3. インストール後、デバイスマネージャ上にて右のように認識・表示されていれば、インストールは正常に行われています。
   - “USB（Universal Serial Bus）コントローラ”を展開して“au W41K”が表示される。
   - “ポート（COMとLPT）”を展開して“au W41K Serial Port”が表示される。
   - “モデム”を展開して“au W41K”が表示される。

※ デバイスマネージャで表示されない場合や“？”マークが表示されている場合には、USBドライバの再インストールを実行してください。
※ デバイスマネージャの上部メニューの[表示]設定を[デバイス（種類別）]にしてください。
※ COMの番号はパソコンの環境によって異なります。



■マスストレージモードを選択した場合

1. パソコンの“マイコンピュータ”を開いて「リムーバブル ディスク」が表示されることを確認してください。



USBドライバをアンインストールする

USBドライバが正常にインストールできない場合や、USBドライバならびにW41Kが正常に認識されていない場合には、USBドライバの再インストール（一度削除してからインストール）を行ってください。

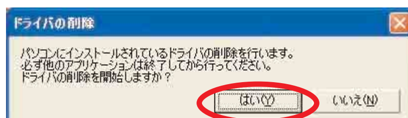
- **編集中のファイルや他のソフトウェアを開いているものがありましたら、あらかじめデータを保存し、終了しておいてください。**
- **W41KからUSBケーブルを外してください。**

1. 解凍後のフォルダまたはインストールフォルダ（「USBドライバをインストールする」3ページ）に“W41KUninstall.exe”があることを確認します。
“W41KUninstall.exe”をダブルクリックするとUSBドライバの削除が開始されます。

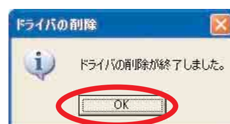
または、コントロールパネルを開いた一覧から“プログラムの追加と削除”をダブルクリックしてください。
“au W41K Software”を選択し、［変更と削除］をクリックすることで、“USBドライバ”の削除が開始されます。



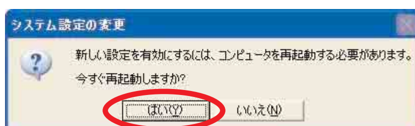
2. USBドライバの削除を確認する画面が表示されますので、［はい（Y)］をクリックします。



3. 右の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。



4. パソコンの再起動の実行を促す画面が表示されますので、起動している他のアプリケーションをすべて終了させ、パソコンからUSBケーブルが外れていることを確認してから、［はい（Y)］をクリックします。パソコンが再起動されます。
再起動後、USBドライバのインストールを行ってください。



コマンドリファレンス

ATコマンド

ATコマンドは、“AT”に続いて“コマンド”と“パラメータ”を入力し、最後にエンターキーを押すとコマンドが実行されます。パラメータ値を省略した場合は“OK”を返します。
なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

コマンド	コマンド名称	書式	解説
/	再実行	A/<CR>	直前のATコマンドをもう一度実行します。
D	オリジネートモードへの移行	ATD［ダイヤルナンバー］<CR>	ダイヤル発信します。
A	アンサーモードへの移行	ATA<CR>	着信応答します。
H	オフライン状態へ移行	ATH<CR>	オンラインコマンド状態から回線を切断し、オフライン状態へ移行します。
O	オンライン状態へ移行	ATO<CR>	オンラインコマンド状態から、オンライン状態へ移行します。
+++	オンラインコマンドモードへ移行	+++<CR>	オンライン状態から、オンラインコマンド状態へ移行します。
In	アイデンティフィケーション	ATIn<CR>	パラメータに従って要求内容をパソコンに通知します。 n=0：“OK”を返す n=1：製品名（W41K） n=2：対象電話機（CDMA 1X WIN） n=3：製造メーカー名（KYOCERA） n=4：型式（表示なし） n=5：製品バージョン表示 n=6：電話番号表示 n=7：“OK”を返す
Qn	リザルトコード設定	ATQn<CR>	リザルトコードをパソコンへ返すかどうか設定します。 n=0：リザルトコード送出あり（デフォルト） n=1：リザルトコード送出なし
Sr?	Sレジスタの内容表示	ATSr?<CR>	[r]で指定したSレジスタの内容をパソコンへ返します。
En	コマンドエコー	ATEn<CR>	パソコンに対してコマンドキャラクタをエコーバックするかどうかを設定します。 n=0：コマンドエコーしない n=1：コマンドエコーする（デフォルト）
&Dn	DTR 制御	AT&Dn<CR> ご注意：デフォルト値でご使用ください。	DTR（データ端末レディ）信号の動作を制御します。 n=0：常にDTRを無視する n=1：オンライン状態でDTR信号がONからOFFになるとオンラインコマンド状態へ移行する n=2：オンライン状態でDTR信号がONからOFFになると回線を切断し、オフラインコマンド状態へ移行する（デフォルト）
&Cn	DCD 制御	AT&Cn<CR> ご注意：デフォルト値でご使用ください。	DCD（受信キャリア検出）信号の動作を制御します。DCD信号とは、相手からのキャリアを受信しているかどうかをパソコンへ知らせる信号です。 n=0：常にDCDをON n=1：パケット通信がアクティブのときのみON（デフォルト）
Vn	リザルトコード設定	ATVn<CR>	パソコンへのリザルトコードを数字（短い形式）で返すか文字（長形式）で返すかを設定します。 n=0：数字 n=1：文字（デフォルト）
&F	工場出荷時設定値への初期化	AT&F<CR>	各種ATコマンドのパラメーター値をデフォルト値（工場出荷設定値）に戻します。

■Sレジスタ

Sレジスタは、通信用端末として使用するための各種設定を行います。

レジスタ	内容	単位	値
S0	自動着信回数	回	0
S3	CRキャラクタコードの設定	―	13
S4	LFキャラクタコードの設定	―	10
S5	BSキャラクタコードの設定	―	8
S6	ダイヤル開始までの待ち時間の設定	秒	2
S7	キャリア検出許容時間	秒	50
S8	ダイヤルコマンドのポーズ時間	秒	2
S9	キャリア確定許容時間	1/10秒	6
S10	キャリア損失許容時間	1/10秒	14

■リザルトコード一覧

本製品がモデムとして動作する場合、パソコンなどからのATコマンドに応答し、リザルトコードの形でパソコンに信号を送り、回線での動作状態を通知します。

使用できるリザルトコードには2つの形式があります。文字形式で長く詳しい応答と、数字形式で短い応答です。文字形式のコードは<CR><LF>で始まり、<CR><LF>で終了します。数字形式には先行するシーケンスはなく<CR>で終了します。

数字	文字	説明
0	OK	コマンドライン実行確認のため、[OK]コードを送ります。
1	CONNECT	オンラインモード状態に遷移した場合、このリザルトコードを送ります。
2	RING	着信中です。
3	NO CARRIER	オフラインモード状態に遷移した場合、このリザルトコードを送ります。
4	ERROR	コマンドライン構文エラー、実行不可能およびコマンドが存在しない場合、またパラメータ許可範囲内外の場合に、このリザルトコードを送ります。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンを検出できません。
7	BUSY	接続相手が話し中です。
29	DELAYED	通信が規制中の場合、このリザルトコードを送ります。